

－ 1. 昭和通り －



番号	新 昭和通り	区道4号	台東区台東
5812006-02-20102002	旧 昭和通り	区道4号 区道26.9.3類形	台東区新徳町1丁目



番号	新 昭和通り	区道4号	台東区日本橋1丁目
5812006-02-FE100006	旧 昭和通り	区道4号 区道26.9.3類形	台東区新徳町1丁目

昭和通りは関東大震災の復興事業として計画、建設された道路である。当時東京市市長だった後藤新平の原案では道幅を108メートルとするものだったが、広い道路の重要性が当時は受け入れられず、結果現在の道幅に狭められ1928年（昭和3年）に完成した。（元号名を附した道路は全国に存在する。東京では、この他、江戸通り、明治通り、大正通り、平成通りとそろっている。この内大正通りは、現在、靖国通りと呼ばれている。）

－ 2. 日本橋 －



首都高工事前



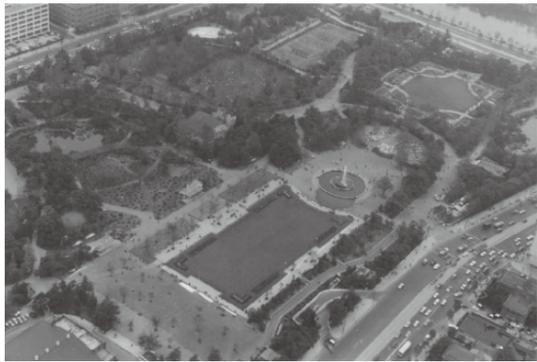
工事中



工事中

日本橋川にかかる橋。江戸時代は5街道の始点であり、周辺地区は魚河岸などを近くに控え、下町の拠点として発展。明治以降も日本銀行や兜町などに近接し、東京東部の重要拠点として栄えた。橋は、1911年に現在のものに掛け替えられたが、1963年にオリンピック関連として首都高速道路が真上に建設される。1999年に国の重要文化財に指定された。

－ 3. 日比谷公園 －

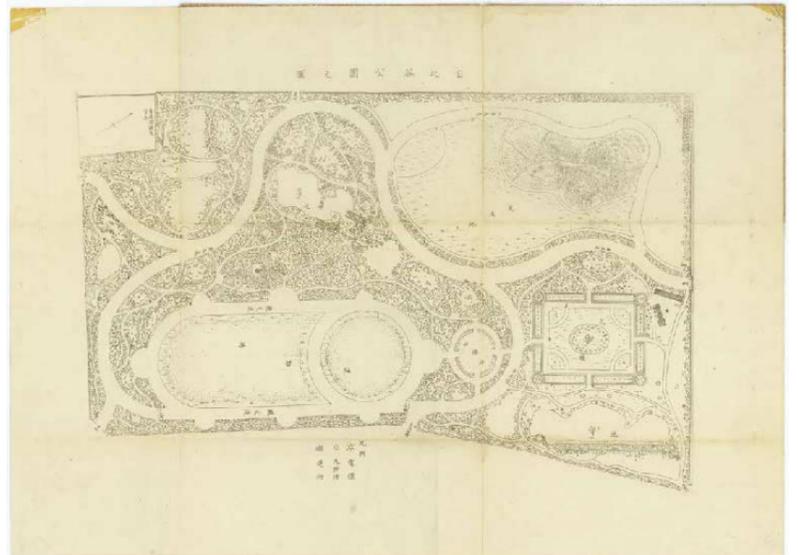


開園当時

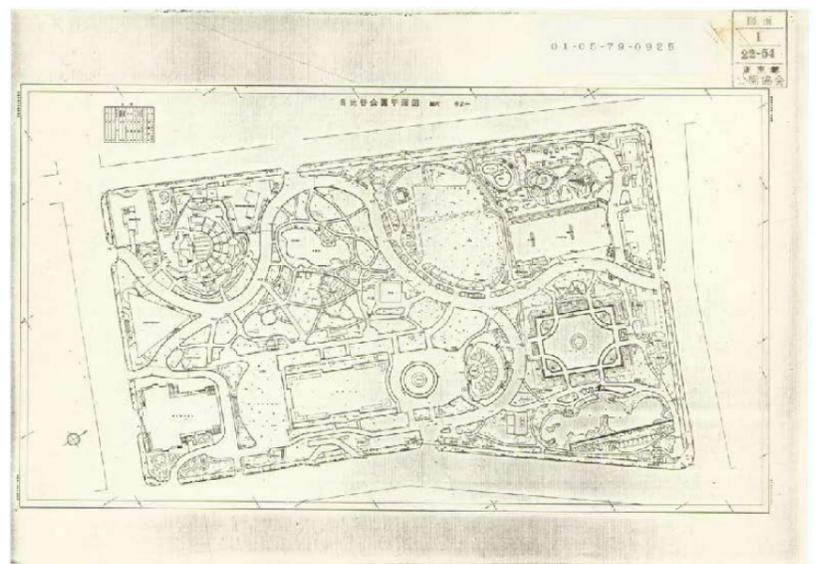


(現在)

幕末までは松平肥前守などの屋敷地。明治時代に陸軍練兵場となる。1888年、都市計画日比谷公園の設置が告示され、これに伴い用地引継ぎを受けた東京市は本多静六博士らによる公園の設計案を1900年採用、翌年造成に着手、1903年6月1日開園した。日本初の「洋風近代式公園」として、多くの人に親しまれる。太平洋戦争が始まると樹木が伐採されて園地は畑となり、かつ金属回収のため外柵等の撤去がおこなわれたり、戦後連合軍に接收されるという苦難を経る。1951年ころから復旧を開始、1961年9月には直径30mの大噴水が完成し公園の新しいシンボルとなり、都民の憩いの場となっている。



(開園当初)



(1970年代)